

学校生活を、おうちの人に伝えよう！

杉並区立天沼小学校 主任教諭 澤 祐一郎

単元のねらいと展開

今回の授業は小学5年生の総合的な学習の時間で実践しました。単元の目標は、「動画作成に関わるポイントを理解し、保護者に学校生活の様子を動画で分かりやすく伝えることができるようになる」ことです。この目標は、文部科学省「学びのイノベーション事業実証研究報告書」（2014年）の授業実践や、NHK for School『しまった！～情報活用スキルアップ～』の授業例を参考にして設定しました。

今回の授業では、感染症防止対策の一環で授業参観などが中止になり、保護者に学校生活の様子を十分に伝えられていないという現状で、「どうすれば学校の様子を保護者に伝えられるだろう。」という問いを立てて学習をスタートしました。「動画のテーマ設定」・「撮影」・「編集」を課題として学習に取り組み、学校生活の様子を保護者に伝える動画作りを通して、情報を正しく活用できるようにすることを目指しました。



授業の流れとポイント

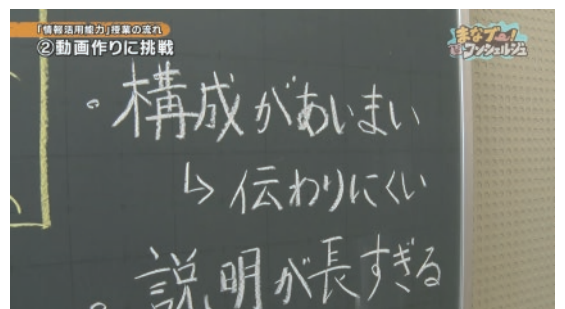
①学習の目的を明確にして、動画作成をしてみよう（第1時間目）

まず、どの程度保護者と学校生活について話しているか聞き、例年に比べ、様子を伝えられていない現状を確認しました。学習の目的を明確にすることで、必要感をもって学習に臨めるようにします。次に、作った動画は保護者会で上映し保護者に見てもらおうこと、動画は1分間で作成することを伝え、保護者に学校生活での様子が伝わるようなテーマになるよう、話し合いを進めました。またテーマごとにグループをつくり、教員が用意した学校生活の映像素材を活用して、個人で動画作成に取り組みました。まずは動画を作ってみることで、自分の問題や課題にひとりひとりが気づき、すすんで課題解決できるようにします。



②動画作りのポイントを確認しよう（第2時間目）

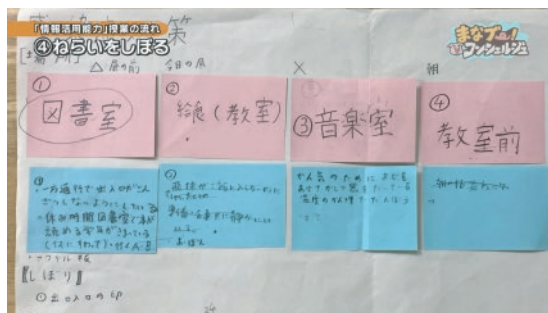
本時では、作成した動画をグループ内で見合い、よかった点、課題点を話し合い、より保護者に伝わるようにするにはどうすればいいのかを考えました。「内容が多すぎて、何を伝えたいのか分からない。」「説明が長すぎる」など、自分の課題点が把握できているからこそ、番組（『しまった！』[動画で伝える技（1）動画作りに挑戦！](#)）を視聴する動機が明確になり、より深く内容を理解しようとする姿勢が整いました。番組視聴を通して、動画作りのポイントを知り、自分の動画内容を振り返り、グループのテーマを再設定しました。



③ねらいをしぼって、撮影しよう(第3時間目)

番組(『しまった!』動画で伝える技(2)取材・撮影編)の前半を視聴し、ウェビングの手法を用いて、必要な情報を確認しました。ウェビングでは紙の付箋を活用して、動画のテーマについて思いつくことを書きだします。情報を広げる際には、インターネット検索などを活用したり、グループで話したりすることで、自分やグループの考えの幅を広げることが大切です。またインタビューやアンケートをする必要がある場合には、休み時間を使って情報収集をするように言葉をかけました。そして、その中からテーマに合わせて、ねらいをどこに焦点化するのか情報を選択します。

撮影場面では、番組の関連動画クリップ(『しまった!』撮影のコツ)をグループの必要に応じて視聴し、撮影するようにしました。今回の授業では、グループごとに撮影する場所や対象が異なります。タブレット端末が1人1台あることで、場所や時間を選ばずに番組視聴やネット検索が可能になります。動画クリップは視聴時間も短いので、活用に最適です。



④動画を編集しよう(第4時間目)

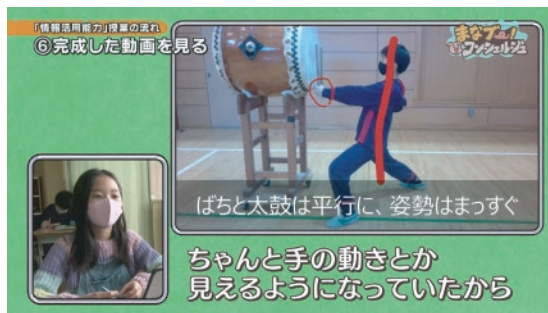
グループで撮影した動画を編集する際のポイントを、動画クリップ(『しまった!』編集のコツ)で確認して、編集作業に取り組みました。タブレットの動画編集機能を活用することで、文字や音を入れたり、動画の長さを調整したりすることが簡単にできるようになりました。中には、編集作業に夢中になるあまり、動画を加工することだけに時間を費やす子もいます。グループで焦点化したねらいを再度振り返り、相手により伝わりやすくなるような工夫を考えることが必要です。「目立たせたい箇所や、動画にコメント(声)を後から入れることで、伝えたい部分を強調する」という編集のポイントを常に確認することが重要です。



またこの時点で、撮影した動画を撮り直したい、追加して撮影したいという意見も出てくることがあります。子どもたちの主体的な姿を前向きに受け止め、撮影の理由などを確認した上で今回の授業では撮影を許可しました。

⑤グループの動画を視聴し、評価・修正しよう(第5時間目)

本時では、事前に全員がアクセスできる共有フォルダに完成した動画を入れておき、ひとりひとりのタブレットで他のグループの動画を視聴して、「よい点」、「課題点」、「改善するポイント」を付箋でまとめました。今まで学習してきたことをクラスで振り返り、「ねらいがしぼれているか」、「保護者に伝わりやすい工夫があるか」を評価の視点と設定しました。付箋は、グループごとのワークシートに貼り付けます。付箋の中から、課題として意見が集中した部分を見出し、動画の修正をしました。また意見を見ていくと、ある子は「いい」と言っている部分が、他の子からは「よくない」と言われていることもありました。情報と付き合っていく中で「人によって、ものの感じ方・考え方



は異なる」という大切な視点にも、子どもたちは気付いていました。

今回の学習を通して、今までは思いつくまま、感覚的に動画を作成していた子どもたちが、情報を収集し、選択して、ねらいに沿った動画を作成できるようになりました。他のグループが作成した動画を、食い入るように見ながら評価する姿が見られたのも、それだけ魅力的な作品を子どもたちが創り上げたからこそだと思います。今後の学習や日常生活の中で、情報活用スキルは、サービスや商品を選ぶときや、問題を解くとき、課題解決をするときなどあらゆる場面で必要となります。そのような場面において、今回の学習で身に付けた学びを生かしてくれることを願っています。

情報活用の授業で私が大切にしていること

Society5.0時代に生きる子どもたちにとって、タブレット PC やスマートフォンは、日常生活の身近なツールとなっています。またGIGAスクール構想実現に向け、児童・生徒が1人1台のタブレット端末を活用しながら、学習することが望まれています。しかしその一方で、SNS等を使ったトラブルや事件に児童・生徒が巻き込まれる、もしくは加害者となることもよく耳にするようになりました。私は情報を正しく判断したり、情報を適切に使用したりする「情報活用能力」の育成が今まさに必要だと感じています。

情報を活用することは便利で、現代の生活にはなくてはならないものです。学校教育の中で、まずは「やってみよう」と思うことが子どもにも、そして大人にも大切なのではないのでしょうか。やってみて、試行錯誤を繰り返す中で、使い方のポイントやコツを子どもたちは身につけていきます。また使い方を間違えると、害になることにも気付きます。「情報活用」の学習の中で、「情報モラル」も身につけられるような学習を大切にしていきたいです。

『しまった！～情報活用スキルアップ～』をおすすめします！



『しまった！～情報活用スキルアップ～』のおすすめポイントは、登場する子どもたちの活動の様子が、成功や失敗も含めて、非常に「リアル」な形で描かれている部分です。実際の学習で起こりそうな事例だからこそ、「そうそう、私もよくやる！」と子どもたちが自分の経験を振り返り、自分のことのように番組を視聴することができます。

またホームページには、テーマに沿った『[今回のポイント](#)』が毎回掲載されています。この教材は、改善のポイントが端的にまとめられており資料としても分かりやすいため、クラスの掲示物として学習の軌跡を振り返るのに最適です。今回の学習でも課題解決の糸口として、子どもたちが「今回のポイント」を確認する場面が幾度となくありました。

GIGAスクール構想のもと、1人1台タブレット端末が整備されます。今後ますます、情報活用能力の育成が望まれることでしょう。必要な情報を集め、集約し、伝える活動をレベルアップするために『しまった！～情報活用スキルアップ～』を活用してみたいはいかがでしょうか。